

第7期 第9回武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

日 時 平成 29 年 9 月 5 日（火） 17 時 30 分開会 19 時 45 分閉会

場 所 中央図書館 3 階視聴覚ホール

出席者 委員 7 名

船崎委員長、毛利委員長職務代理、伊野委員、桂委員、瀬戸委員、松山委員、柳田委員、山本委員

事務局 8 名

養田館長、奥野（公財）武蔵野生涯学習振興事業団派遣副参事、前田課長補佐、秋庭係長、加藤課長補佐、柏倉課長補佐、森本課長補佐、須藤主事

傍 聴 0 名

内容 1 議題

(1) 前回議事録の確認について

2 報告事項

(1) 平成 28 年度図書館事業評価について

(2) 平成 29 年度図書館事業目標について

(3) 図書館基本計画の改定について

(4) 吉祥寺図書館改修事業 進捗状況について

3 その他

<館長>

本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。本日は第 7 期の図書館運営委員会最終日となる。今日までありがとうございました。今年は市政 70 周年ということで、現在の市長が三期 12 年で勇退をするという意思を示しており、任期は今年の 10 月までで、市長選が 10 月にある。本日より平成 29 年度の第 3 回の市議会定例会があり、邑上市長最後の議会となる。今日から一般質問が始まり、21 人の議員さんより質問があり、そのうち 10 人の方から教育委員会関連の質問があった。その中では 1 人 L G B T の関係で、図書館でどのような展示をしているのかという質問があった。図書館では今年は男女平等参画推進誌「まなこ」という冊子の 10 周年記念の展示を行った。また、女性に対する暴力をなくす週間に関する展示を平成 25 年から続けているというようなことを、市長が答弁した。

また、図書館では夏休みに恒例の「図書館こどもまつり」が行われた。宇宙や化石などに関する科学遊びや、工作教室、お話し会など盛りだくさんの内容で、子どもと大人 3 館で合わせて 805 人が参加した。また、中央図書館では 8 月 23 日に「みて・ふれて・ためしてみよう一日図書館バリアフリー体験」ということで目や耳の障害のある人も一緒に楽し

める映画会や、マルチメディアデイジー上映体験会、点字教室等が行われ、図書館で実際にどのようなバリアフリーが行われているかということを経験、理解することができた。こちらは子どもと大人延べ 144 人が参加した。

また、後程報告するが、吉祥寺図書館に関してはリニューアル工事ということで 8 月 31 日をもって休館し、9 月 2 日の土曜日から臨時窓口が開設された。当日は雨のため、出足は鈍かったのだが、天気が回復するにつれて予約本を取りに来る方が次々といらっしやり、初日で 200 人の方が訪れたということであった。

<委員長>

次第に沿って進めていきたいと思う。まず、議題 1 の前回議事録の確認について。事務局の方、説明をお願いします。

<事務局>

議題 1 の前回議事録の確認について説明させていただく。まず、資料 1 をご覧いただきたい。前回 7 月に開催した委員会の内容を要録としてとりまとめたものが今回の資料となる。今回の運営委員会で確認いただき、承認いただければ委員会終了後に HP で公開したいと考えている。

<委員長>

これに関して何かある方。

<委員>

修正を 2 か所お願いしたい。7 枚目の上から 6 行目の「事業計画策定し」を「事業計画を策定し」に修正。また、「公表することができるという」を「公表することができないという」に修正。

<事務局>

それでは、修正後、この内容で公開することとする。

本日は予定されている議事は以上となる。引き続き報告事項にうつりたいと思う。事務局より説明をお願いしたい。

<事務局>

では、報告事項として資料 2 と資料 3 をご覧いただきたい。こちらは平成 28 年度図書館事業評価について、資料 3 は平成 29 年度図書館事業目標についてである。前回の審議で訂正をいただいたものを基本的に盛り込み、委員長と事務局で修正し、確定したものである。まず、資料 2 の方をご覧いただきたい。まず、1 番の右側の実績評価の部分であるが、「コ

ンビニと協力した～」を事務局の方で文章の補足を行った。2番の方も「見直しは行いませんでした」という表記を「変更は行いませんでした」に修正。9番も2番と同様に改めた。13番の「吉祥寺改修」という表記を「吉祥寺図書館改修」というように正しい表記に改めた。28年度の事業評価で今回改めた部分は以上となる。

29年度事業目標の7番の「業務に関わる外部からの研修情報を職員に周知し、参加させます」というように改めた。11番と16番に関しては数値目標を入れるようにというご指摘により、数値目標を入れた。

修正箇所は以上となる。

<委員長>

確定したものではあるが、報告事項のため、何かご意見ご質問がある方。

<事務局>

一点補足を。前回委員会で意見をいただいたものをそのまま反映させたものが今回の資料2と3となる。また、資料2の中で、前回委員会の中で意見は出なかったが、教育委員会内部の議論の中で修正を行った部分も1か所あるということをお伝えしたい。

<委員長>

他に何かご意見等ある方

<委員>

資料3の7番目の職員の人材育成に関して。「参加させます」とまで言わなくても「参加します」程度でいいのではないかと思う。

<事務局>

「参加を促します」のような形で検討したいと思う。

<委員長>

では、報告事項の3に移りたいと思う。図書館基本計画改定について。

<事務局>

資料の4をお願いしたい。図書館基本計画の上位計画である生涯学習計画が改定するにあたり、図書館基本計画の一部改定予定だったものを全部改定に変更させていただく。また、合わせて策定作業を今年度と来年度の2年間で行う形にさせていただく。策定は来年度に、今年度は主に資料収集を行っていきたいと考える。一部改定ということで5年程度伸ばそうと考えていたのだが、全部改定ということになり、10年程度延長しようというこ

とである。来年度策定作業を開始する、第 6 期長期計画の策定スケジュールとの整合性を
はかり、方向性の共有を行っていく。今年度実施することとしては、計画策定に必要な情
報収集・基礎調査アンケートを行う。年明けをめどに運営委員会をベースとした策定委員
会というものを運営委員会とは別に立ち上げ、設置し、審議する予定である。

報告は以上となる。

<委員長>

これに関して質問等ある方。

(特になし)

では、引き続き報告事項 4 の吉祥寺図書館改修事業について説明願いたい。

<事務局>

最初の挨拶時にも申し上げた通り、8 月 31 日をもって吉祥寺図書館が休館に入った。9
月 1 日は金曜日で休館日であったため、2 日より臨時窓口が稼働した。臨時窓口は吉祥寺図
書館から徒歩 5 分ほどの距離にある。現在吉祥寺図書館は工事着工に向け、館内の蔵書移
動の作業に着手している状態である。蔵書は専門の倉庫で一時保管し、一部の予約資料を
のぞき、休館期間内は貸し出しにまわらない凍結という状態となる。今回の休館に関して、
目立った混乱の報告は受けていない。しかし、工事の契約作業が若干押しているため、工
期は来年の 2 月いっぱい終了する予定だったが、3 月の中旬頃までかかる可能性も出
てきてしまい、今後指定管理者となる生涯学習振興事業団とも協議をしていくが、開館日
が 4 月当初という予定が困難な状況になっているところである。決定次第報告をする。

<委員長>

この報告に関して、何か質問等ある方。

<委員>

工事の関係で難しいということだが、4 月 1 日開館というのは絶対に動かさないでほしい。
半年間も利用ができないわけであるため、4 月 1 日に開館というのは至上命題である。これ
は理由をつけて伸ばせる問題ではないと思う。

臨時窓口に行ってみたのだが、非常に安っぽいものであった。本日 9 時過ぎくらいに行
ったところ、ちょうどシャッターを女性が開けるところであった。私は本を返したかった
だけなのに、開館は 9 時半からなので本は受け取れないという。そんな杓子定規なことを
言う職員を置いておくようでは色々な問題が起きるのではないかと思う。利用者は非常に
不便を感じながら利用するわけである。そんな時に 9 時半から開くからそれまでは吉祥寺

図書館のブックポストに返してほしいと言われたら「なんだこれは？」と私は思った。このような問題は色々と発生するため、利用者に迷惑をかけているということを念頭に置いて仕事をしてもらわないと齟齬をきたすと思う。

もう一点。今日来る途中に吉祥寺図書館に本を返してきた。そして中央図書館で本を借りようと思ったのだが、吉祥寺図書館に返した本が全く返却済みになっていない。遠いところから来る人は本が重たいため、来る途中に吉祥寺図書館があれば返却してから、中央やプレイスへ行くと思う。少なくとも吉祥寺図書館に人が常駐しているのであれば1時間おきにメンテナンスを行う等行ってもらいたい。そのようなフォローをきちんと行ってもらいたい。

<事務局>

臨時窓口に戻したものはその後中央に交換便で来て、初めて返却処理がされる。吉祥寺図書館のブックポストに返却したものも同様である。

交換便は1日2回回っているため、回収も1日2回入ることとなる。つまり、丸1日おけば大丈夫である。もしも、貸し出し上限の10冊いっぱいまで借りており、吉祥寺図書館に返却したということであれば申し出ただけであれば返却済みという形で処理し、借りることができるよう処理をする。

<委員>

このような形で利用者が様々な形で不便をこうむっているため、フォローを行ってほしい。

<委員長>

それではその他の3にうつろうと思うが、何かある方。事務局の方向かあるか。

<事務局>

特になし。

<委員>

最後なのでいくつか良いか。例えばこれ（手元の資料）は「武蔵野市の図書館」を見て図書館の何？とってしまう。図書館の何が書いてあるのか表紙を見ても全く分からない。「図書館の利用概況」等何か記載すべきではないか。

<委員>

年次報告書ということではよいのではないか。

<事務局>

今回第 7 期の図書館運営委員会が最後となる。今期も皆様のご協力のおかげで円滑な委員会の開催をすることができたと感謝している。最後に皆様にお配りしたものが平成 28 年度の年次報告書となる「武蔵野市の図書館」と、「図書館だより」である。武蔵野市立図書館ができて 70 年、町立図書館から考えると 71 年になるが、それを簡単に見やすいような形でまとめたものである。70 年の歩みをごくごく簡単にまとめたものであるため、是非読んでいただきたいと思います。

最後に皆様お一人ずつ、今期の委員会に関する感想や、今後図書館に望むこと、思われたこと等お言葉をいただきたい。

<委員>

今まで利用者側からしか見ることができなかったが、実際にこういったことを考えて、こういった目標を立てて、図書館を運営していることが分かり、よい経験だったと思う。これから図書館に期待することとしては、図書館も時代とともにどんどんコンピューター化されたり、便利になっているが、図書館の方と子どもが触れ合う等、子育てをしていく中で親の知識だけでは足りない部分を図書館の方に補ってもらいたいという気持ちがある。親が知らない本でも面白い本があれば教えてもらったりできる、そのようなコミュニケーションが希薄になっている気がする。コンピューター化するものとアナログ化すべきものをきちんと分け、さらに図書館をよりよくしていってもらいたいと思う。どうもありがとうございました。

<委員>

2 年間お世話になりました。私は図書館の仕事を高校時代にやったことがある。図書館の局長というものをやっており、50 年ぶりに図書館に関わった。2 年間ではあったが、吉祥寺図書館のリニューアルに参加させてもらったり、非常に助かった。ほとんど毎日吉祥寺図書館を利用しているが、今は中央の方に来ようと思っている。吉祥寺図書館は中央とプレイスとはまた違った町にあり、2 館とはまた違う人たちが来ているため、図書館を憩いの場にしながら過ごしている人が多くいるため、そういった図書館の使い方があってもよいかなと思う。みんなが来て、あそこで休みながら本を開いて休んで帰るというような空間の図書館になって欲しいと思っている。2 年間ありがとうございました。

<委員>

2 年間ありがとうございました。図書館のことがよく分からず、全然意見を言うことができなかったが、色々なことを企画し、計画書も立てているということを知り、図書館の運営について学ぶことができ、とてもよい経験となった。最近はあまり図書館へ行けていないのだが、また機会があれば参加したいと思っている。

<委員>

学校と図書館と連携していることが多くあり、学習の場でたくさんの方々に力になってもらっているなど感じながら参加していた。特に今年は読書の動機づけ指導の記念の年であったのだが、私の出張の時に来られることが多く、最近あまり様子を見ることができず残念に思っている。やはり、学校の学習の中で読む力をきちんとつけるということはすごく大きいものであり、本にいかに関心しているかということが子どもたちの学習を進める上で一番の力になっているのではと思っている。学力調査を見ると、相当な量を読まない子どもたちは問題解決ができないという状況にある。図書館の方がこうやって計画を立てて、学校と連携していただいているのでとても感謝している。私も長い間委員をやらせていただいたのだが、長くなりすぎてしまっているため、バトンを渡したいと思っている。その方も色々と思いを抱いていると思うので、よろしくお願ひしたいと思う。

<委員>

手元にある図書館だよりのリニューアルを見て、ずいぶんよくなったなという印象を持った。以前、各図書館の図書館だよりを開いて、どうしてもっとビジュアル的に工夫できないのかなと思っていた。最近はそのような発言はしていなかったのだが、今回、このような形で出てきたため、個人的に非常に嬉しく思っている。今後どのように展開されていくのか楽しみにしている。初めてこの委員になった際に初めて委員会の議事が公開されるようになったかと思う。その議事を見ていると、ずいぶんざっくばらんに、井戸端会議のようにやっている会議もあったように記憶している。しかし、最近は図書館法も変わり、きちんと評価をしなければならなくなってしまったため、どうしても会議の大部分を評価にとられてしまっているなど感じている。目標を立て、評価をし、ということも実質的には大事なことではあるのだが、作業に費やす時間が増えてしまっているという印象がある。これは法律で求められているため、必要であるとは思いますが、毎回とは言わないので、年に1回程度はざっくばらんに図書館に関する井戸端会議のようなものを運営委員会の名でなくてもよいので行うのはどうだろうか。そのような場ができると様々な意見が出て、刺激になってよいのではないかと思う。2年間お世話になりました。

<副委員長>

私も長く委員をやっているが、目指すところを自分なりに持っている。理想像はアメリカの図書館のような「引っ越ししたら図書館へ行け」というものである。図書館は非常に信頼されており、引っ越ししたらまず図書館へ行けという仕組みができています。図書館というのは無料の貸本屋ではなく、情報拠点である。「ワンストップサービス」という言葉で言われているが、市民が困ったときにまずは図書館へ行けば何でも分かるというようなシステムが先進国の図書館では当たり前である。しかし、日本の図書館は発展途上である。そ

れを少しでも発展できたらなと思っている。今回の望ましい基準の元となったこれからの図書館像を見ると、ほとんどそれが出ている。あとはそれをいかに実現するかということである。長年図書館を利用してきた市民の方々は長い間貸本屋のイメージが強かったため、図書館に専門職はいないレファレンスは知らないなど、本来持っている機能を十分に果たせていない部分がある。今回はそれを元に戻そうという働きであるため、その手助けができたらと思っている。武蔵野市の図書館は非常にレベルが高いため、他の図書館の見本になるような図書館になって欲しいと思っている。憲法で知る権利の保障があるが、知る権利を公的に保障してくれる場所というのは図書館しかない。図書館はその権利を保障している公的な機関である。それを少しでも実現できればなと思っている。サンプルになるような図書館づくりができればよいと思っている。これからもよろしくお願ひしたいと思う。

<委員長>

皆様のご協力でここまでやってこることができた。協力に感謝したいと思う。私も50年ほど前のアメリカの映画にあったある窃盗団が町に来て、まず最初に訪ねたのが、図書館だったという話を聞いてびっくりした。映画の中の話ではあるが、アメリカ人の生活の中に図書館が浸透しているということの象徴であると感じた。私も町の図書館というのは何かあったときに頼られる図書館というものであるということを目指してきた。30年前までは図書館を外から見ていたのだが、いつの間にか図書館を内側から見るようになっていた。そのような意味で市民委員の方の意見というものが非常に参考になった。

<委員>

補足を。

一度だけ委員会の開催を延期したことがあったと思う。議題がないため延期するというのを聞いてびっくりした覚えがある。図書館を毎日運営しているのだから、3か月に1回程度の会議で議題がないということはないと思う。議題がないというのは先ほどもおっしゃっていた計画や評価に関する議題がないからということだと思うが、その際は議題を集めればよい。みなさんに1つや2つ議題を持ってきてくださいと言えば必ず議題は集まると思う。みなさん忙しい中で日程を決めている訳であるから、議題は探すべきである。今後議題がないという理由で中止することはやめてもらいたい。

<事務局>

ありがとうございました。

次回委員会から図書館基本計画の改定作業に入ることとなる。改定作業に先立ち、委員の方から次期計画に盛り込むべき大きな視点や、また何か新しい視点等ありましたらフリーで意見をいただきたい。

<委員>

傍聴の方が前にいらっしやったと思うが、会議の場では話を聞くことができなくても、後でもいいので事務局の方から声をかけるなどすべきであるとする。また、今日に関して言えば会議の始まる 30 分前には事務局はいないとおかしい。運営の仕方がお役所的な気がする。

<事務局>

今後の運営の参考にさせていただきたいと思う。
行き届かない点が多くあり、申し訳ございません。

<委員>

資料はページ番号をふった方がよい。このような資料を出すというのは失礼ではないか。また、資料は 2 アップでもよいのではないか。

<委員>

東京都立図書館が国分寺に新しくできたと思うが、PC 環境が脆弱だ。10 年 20 年先のことを考えて作るべきだと言ったのだが、実現されなかった。結局 1 人の持ち時間が 45 分である。データベースを使用する際に 45 分で使い終わるわけがない。台数が足りなさすぎる。これからの図書館は情報拠点センターになるべきである。

<委員>

Kindle 等もこれだけ普及しているのだから、1 冊程度は購入するべきであると思う。1 個買って置いて使ってみるというのが、先行投資としてよいのではないか。実際に使って、良し悪しを見極めてみてほしい。将来タブレット端末をみんな使用する時代が来るわけである。

<委員>

タブレット端末で見たい人は自宅で見ると、現物を見たいという人が図書館に来るといった利用でいいのではないか。

<委員>

両方、両機能が必要であると思う。
将来のことを考えると子どもたちはタブレット端末がないと図書館に来なくなってしまうと思う。

<委員>

日本の図書館でそのようなシステムが進んでいるところはどこかあるのか？

<委員>

都立が先ほど言った状況であるため、公共の図書館は進んでいない。大学の図書館は進んでいる。公共の図書館はその部分は遅れている。大学の図書館はデータベースの利用制限はない。将来的にはプレイスあたりにはその辺の配慮をして欲しい。吉祥寺図書館もリニューアルするのだから PC 環境も計画の時点でもっと配慮して欲しかった。

<委員>

一般人はそこまで細かくは求めていないと思う。しかし、今の時代一回限りであれば絵本を全部読めるサイトなどもある。そのようなものに慣れてしまうと、私たちは紙に抵抗はないが、小学生くらいからは紙で読む世代がだんだんと少なくなってきてしまうと思う。

<委員>

吉祥寺図書館は 2 階だと、子どものコーナーと大人のコーナーが混在している。大人や、小学校高学年になると静かに利用できると思うが、それ以下となるとどうしてもうるさくしてしまう。そこはすみ分けて欲しいという要望はともある。うるさくしてもよいゾーンが欲しい。

<委員>

玉川大学は、1 階から 4 階まで図書館でその上に教室があるという建物がある。1 階と 2 階は普通の図書館で、その中に個室が 200 室ほどある。グループ学習したい人は 3 階、4 階に行ってもらおうとグループ学習室がある。

<委員>

紙芝居と図鑑では全く系統が違うため、そこは同じ子ども向けと言っても分けてほしい。

<委員>

プレイスはそう言った意味では地下に子ども向けの居場所があると思うが。

<事務局>

地下に青少年のコーナーがある。2 階は児童向けで、フロアごとに分けられている。1 階だと自由にグループ学習してよいフロアになっている。2 階であればある程度声を出しても大丈夫な空間となっている。

<委員>

プレイスの人気なところはそのようなところであると思う。

<事務局>

フロアごとに色がはっきり分かれている。

<委員長>

地下2階は子どもたちが大勢いる中、みんな勉強をしているのには驚いた。

<事務局>

青少年のコーナーは、本来、学習だけではなく、おしゃべりやゲームをしてもよいのだが、地域性があるのか、勉強している子どもたちが多く見受けられる。

多い時だと150人ほど入っているときもある。普通施設というと住所や名前を書いてもらって利用する形だと思うのだが、プレイスは空いている席があれば自由に使用できる。大人の空間と分かれているというのが利用に繋がっているのではないかと思う。

<委員長>

プレイスの1階にカフェがあると思うが、あれに関して文句は来ないのか。

<事務局>

開館当初は図書館に飲食コーナーがあるという抵抗がある方が多かった。特に匂いに関しては色々な意見があった。そこはなるべく匂いの出ない調理法をお願いしている。

<委員>

六本木ヒルズライブラリーも軽食ができるということで人気が高いようである。1日中いる方が多いらしい。有料であるが、多くの人が入っている。

<事務局>

プレイスもおかげさまで7月8日に来館者数一千万人を突破した。

<委員>

データベースを新しくする際に一番の弊害となるのが議員さんであると思う。本は予算がとりやすいが、データベースは賃借料であるため、なかなか取りにくいと思う。議員さんが図書館の現状を知らないと、予算が通らないと思うので、一度議員さんを集めて図書館利用案内をやるのがよいと思う。せめて新人議員さんに向けてはやるべきであると思う。そのようなことをやらないとデータベースの予算はとれないと思う。

<事務局>

新しく当選した議員さんに対しては研修として図書館の案内は行っている。

<委員>

データベースが必要であることを伝えてほしい。

<委員>

議員さんに図書館の活用方法を教えてあげるとよいと思う。武蔵野市の現状はこうである等、データベースで資料を提供してあげるとよいのではないか。議会の議事録もあるということを知らせてあげるとよいと思う。

<事務局>

ありがとうございます。全体を通じて何かある方がいらしたら発言していただきたい。

<委員>

吉祥寺図書館のリニューアルを楽しみにしている。

<委員>

昔自分が武蔵野図書館を利用していた際にレファレンスにはプロのライブラリアンがいた。大変お世話になり、何を聞いてもすぐに答えてくれた。そのようなプロのライブラリアンが戻ってきてくれることを期待している。